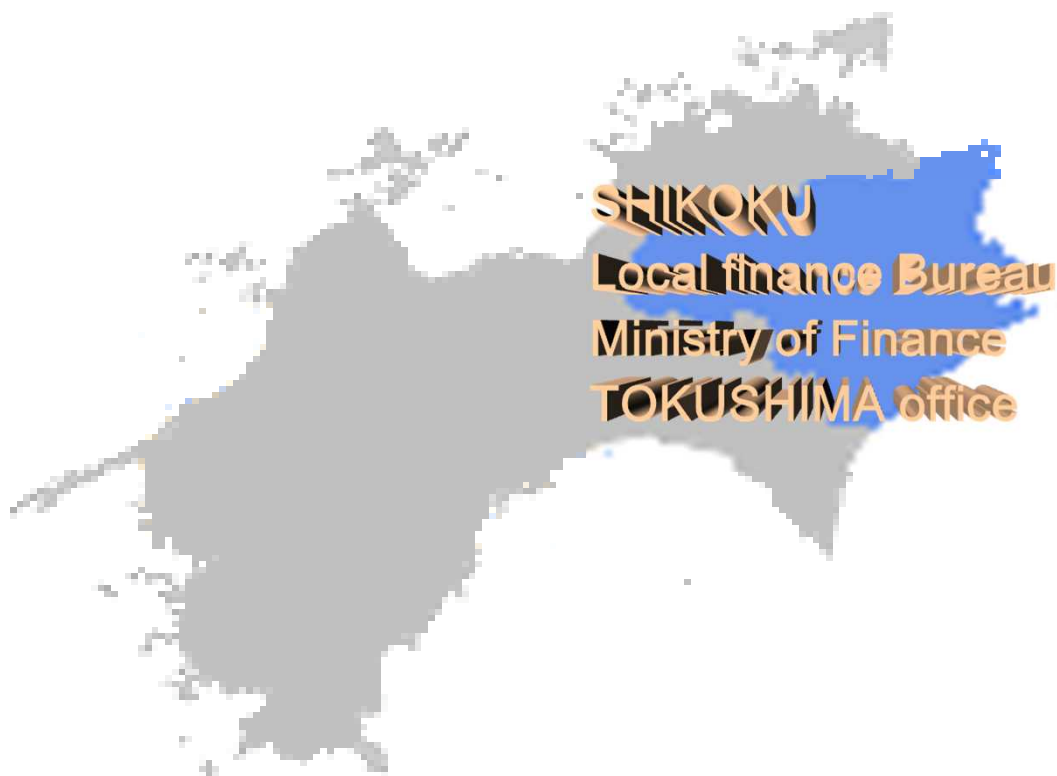




徳島県内経済概況



平成 29 年 7 月

財 務 省
徳 島 財 務 事 務 所

目 次

総 括 判 断	1
個 人 消 費	2
生 産 活 動	5
雇 用 情 勢	6
設 備 投 資	7
公 共 事 業	7
住 宅 建 設	8
企 業 倒 産	9
消 費 者 物 価	9
県 内 地 域 経 済 に 関 す る 生 の 声	10

【利用上の注意等】

※資料の計数等については、一部速報値のものも含まれます。


※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があります。

総括判断

県内経済は、緩やかに持ち直しつつある

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続き、また、各種政策効果に支えられ、景気が回復していくことが期待される。

ただし、海外経済の不確実性に留意するとともに、為替市場の変動など景気を下押しするリスクに注視する必要がある。

項目	前回(29年4月判断)	前回比較	今回(29年7月判断)	総括判断の要点
総括判断	緩やかに持ち直しつつある		緩やかに持ち直しつつある	生産活動は、持ち直しの動きに一服感がみられるものの、個人消費は、緩やかに持ち直しつつあるほか、雇用情勢は、緩やかに改善している。

項目	前回(29年4月判断)	前回比較	今回(29年7月判断)
個人消費	横ばいの状況にある		緩やかに持ち直しつつある
生産活動	緩やかに持ち直しつつある		持ち直しの動きに一服感がみられる
雇用情勢	緩やかに改善している		緩やかに改善している

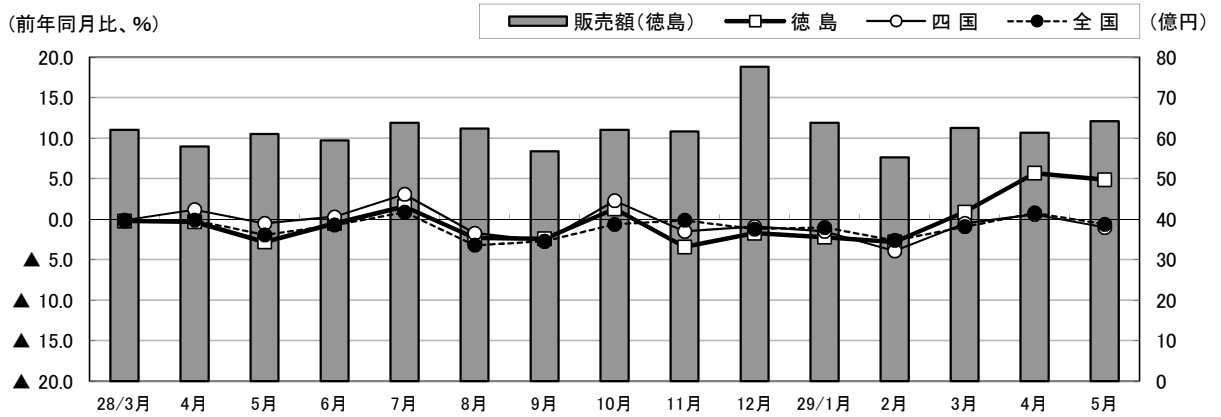
設備投資	28年度は前年度を下回る見込み		29年度は前年度を上回る見通し
公共事業	前年度を上回っている		前年度を下回っている
住宅建設	前年を上回っている		前年を下回っている

(注)29年7月判断は、前回4月判断以降、足下(7月末)の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費 緩やかに持ち直しつつある

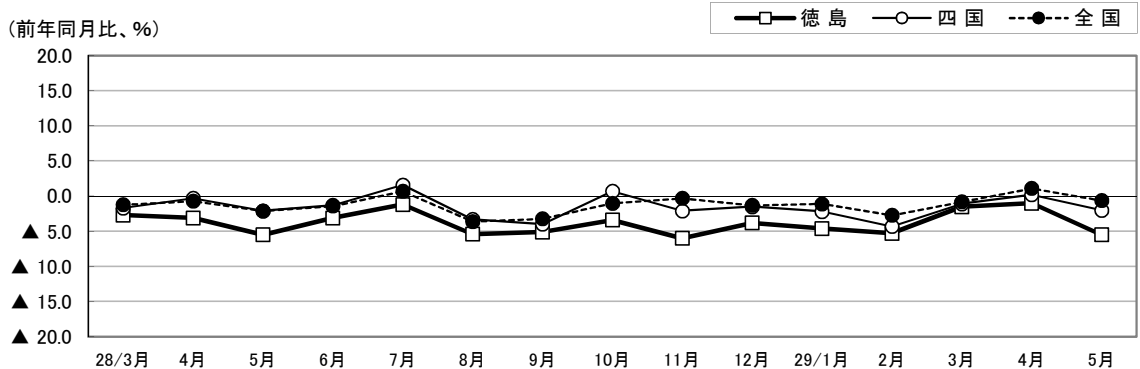
(1) 百貨店・スーパーは、新店効果や催事効果などから飲食料品が順調となっているほか、衣料品は新生活用の需要から実用衣料に動きがみられ底堅いものとなっており、全体でも順調に推移している。

★ 百貨店・スーパー販売額（全店ベース）



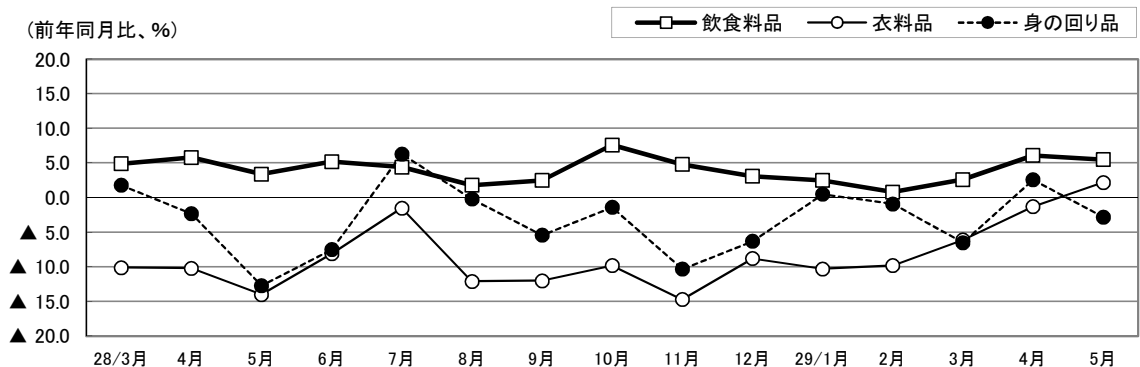
	28/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	▲0.2	▲0.3	▲2.8	▲0.5	1.6	▲2.3	▲2.4	1.3	▲3.4	▲1.7	▲2.2	▲2.8	0.9	5.7	4.9
四国	▲0.1	1.2	▲0.5	0.3	3.1	▲1.7	▲2.7	2.3	▲1.5	▲0.9	▲1.5	▲3.9	▲0.5	0.6	▲1.0
全国	▲0.2	▲0.1	▲1.9	▲0.7	0.9	▲3.2	▲2.7	▲0.6	▲0.1	▲1.2	▲1.0	▲2.6	▲0.9	0.8	▲0.6
販売額(徳島)	62.1	58.0	61.1	59.5	63.8	62.4	56.8	62.1	61.7	77.7	63.8	55.3	62.6	61.4	64.2
店舗数(徳島)	27	27	27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	28	29	29

★ 百貨店・スーパー販売額（既存店ベース）



	28/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	▲2.7	▲3.1	▲5.5	▲3.1	▲1.2	▲5.4	▲5.1	▲3.4	▲6.0	▲3.8	▲4.6	▲5.3	▲1.5	▲1.0	▲5.5
四国	▲1.7	▲0.3	▲2.1	▲1.3	1.6	▲3.3	▲4.0	0.7	▲2.1	▲1.5	▲2.2	▲4.3	▲1.1	0.2	▲2.0
全国	▲1.2	▲0.7	▲2.1	▲1.4	0.7	▲3.6	▲3.2	▲1.0	▲0.3	▲1.3	▲1.1	▲2.7	▲0.8	1.1	▲0.6

★ 商品別販売額前年同月比（全店ベース、徳島）

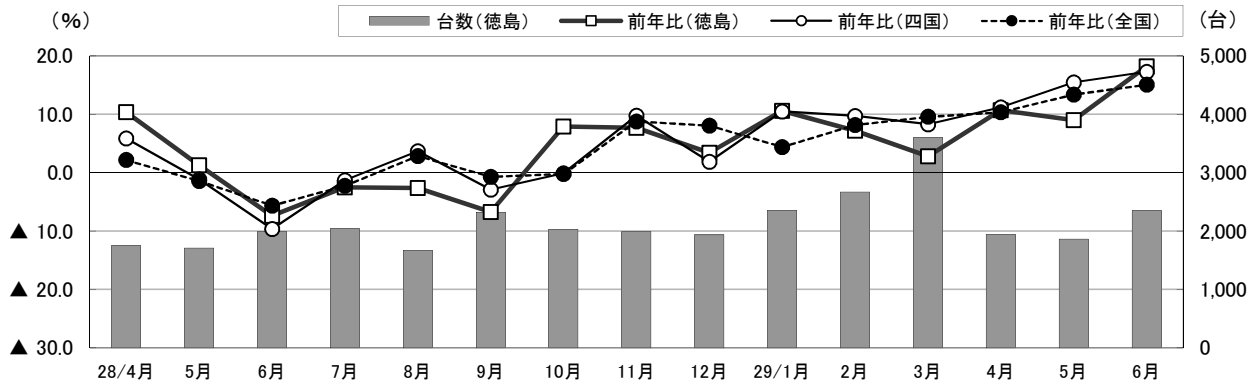


[資料：経済産業省(全国)、四国経済産業局(徳島、四国)]

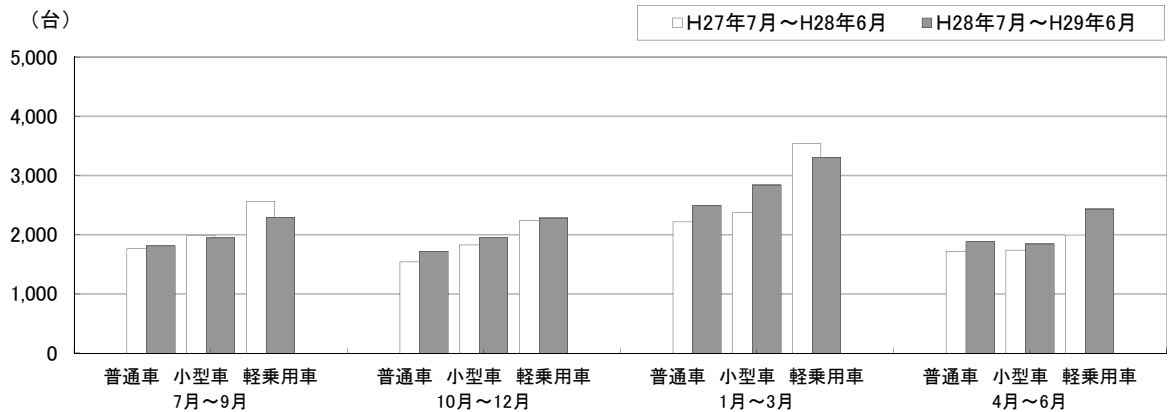
(2) コンビニエンスストアは、リニューアル発売された米飯やデザートに動きがみられるほか、めん類やフライヤー商品にも動きがみられる。

(3) 乗用車販売は、普通車、小型車、軽乗用車でいずれも前年を上回っている。

★乗用車(新車)販売台数



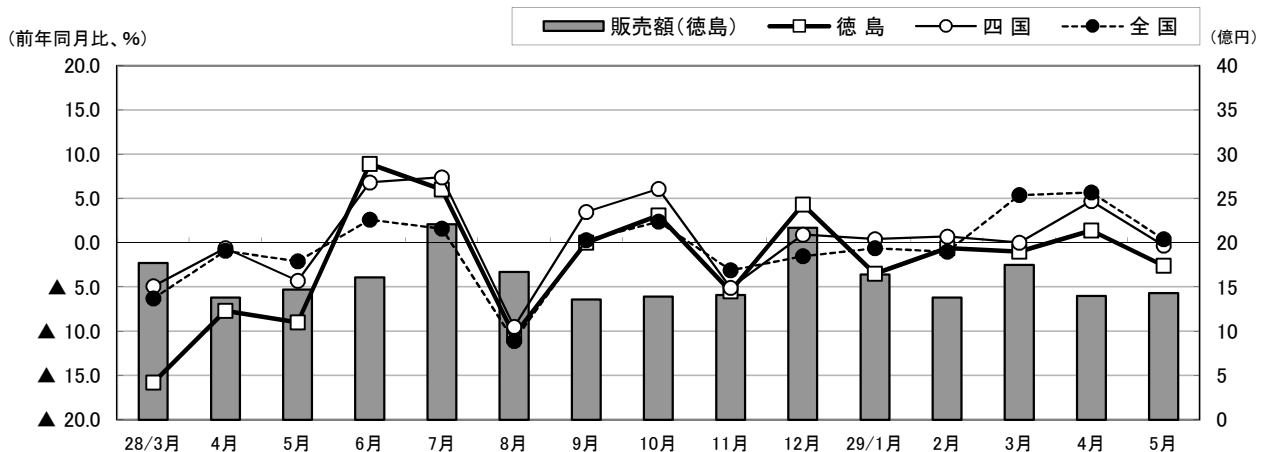
★車種別販売台数(徳島)



[資料:四国運輸局ほか]

(4) 家電販売は、パソコンの動きが悪いものの、省エネ性能など高機能商品の人気が高く白物家電やエアコンに動きがみられることから、全体ではおおむね前年並みとなっている。

★家電販売額(全店ベース)

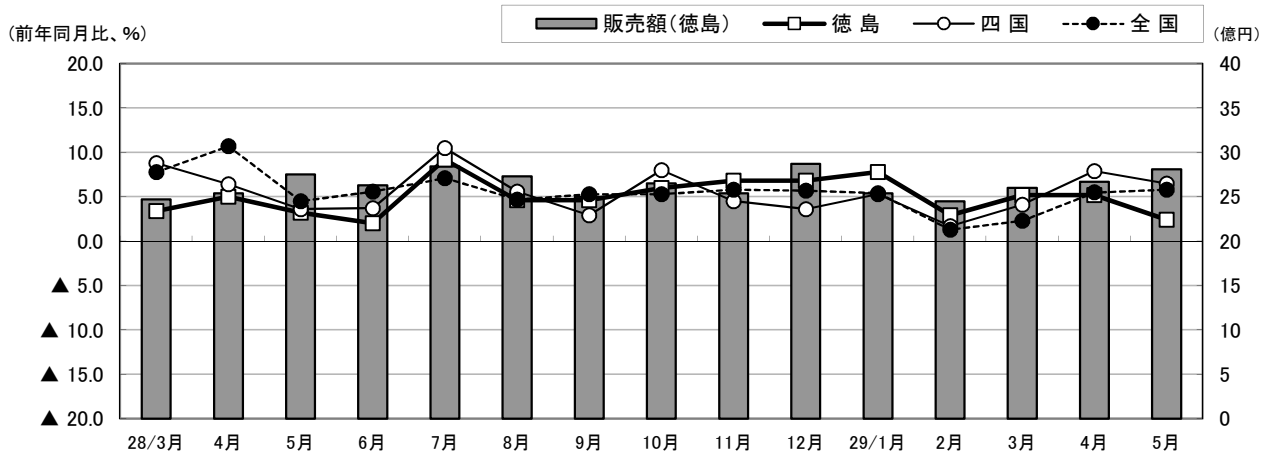


	28/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	▲15.8	▲7.7	▲9.0	8.9	6.0	▲10.5	0.0	3.1	▲5.5	4.3	▲3.5	▲0.6	▲1.0	1.4	▲2.6
四国	▲4.9	▲0.6	▲4.3	6.8	7.4	▲9.5	3.5	6.1	▲5.1	1.5	0.4	0.7	▲0.0	4.7	▲0.3
全国	▲6.3	▲0.9	▲2.1	2.6	1.6	▲11.1	0.3	2.4	▲3.1	▲1.5	▲0.6	▲1.0	5.4	5.7	0.4
販売額(徳島)	17.7	13.8	14.7	16.1	22.1	16.7	13.6	13.9	14.1	21.7	16.4	13.8	17.5	14.0	14.3
店舗数(徳島)	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17

[資料:経済産業省(全国)、四国経済産業局(徳島、四国)]

(5) ドラッグストア販売は、花粉症や黄砂対策から鼻炎薬などの医薬品、値頃感のある食料品や日用品に動きがみられ、前年を上回っているほか、ホームセンターは、雨の日が少なく天候が良かったことから園芸用品や木材・建築資材に動きがあり、全体では前年並みとなっている。

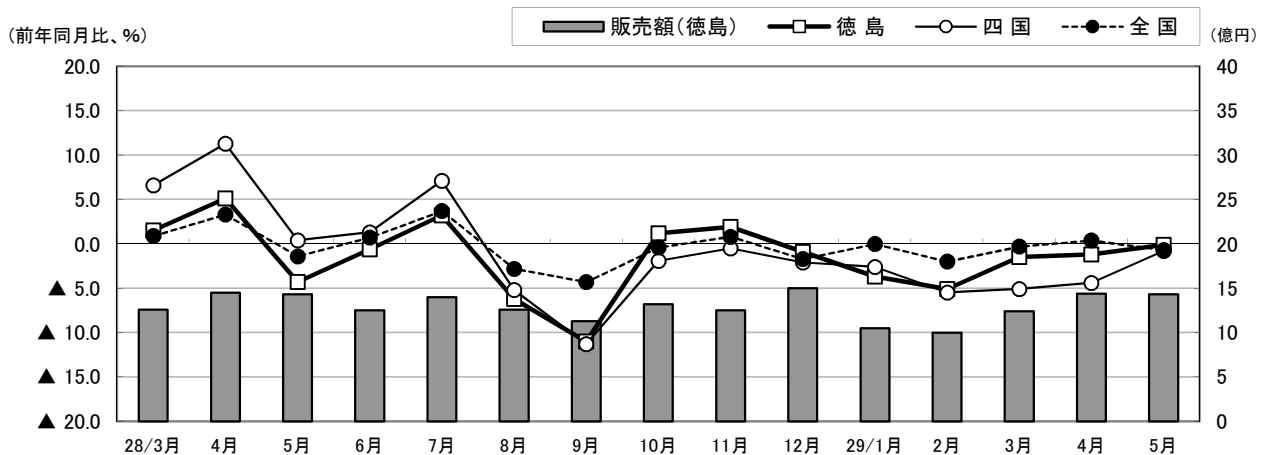
★ドラッグストア販売額（全店ベース）



	28/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	3.4	5.0	3.2	2.0	9.2	4.6	4.6	6.0	6.8	6.8	7.8	2.9	5.2	5.2	2.4
四国	8.8	6.4	3.6	3.7	10.5	5.6	2.9	8.0	4.5	3.6	5.3	1.7	4.1	7.9	6.5
全国	7.8	10.7	4.5	5.6	7.1	4.7	5.3	5.3	5.8	5.7	5.4	1.3	2.3	5.5	5.8
販売額(徳島)	24.7	25.4	27.5	26.3	28.4	27.3	25.0	26.5	25.4	28.7	25.4	24.5	26.0	26.7	28.1
店舗数(徳島)	67	66	67	68	68	68	69	70	71	71	71	70	70	68	69

[資料：経済産業省(全国)、四国経済産業局(徳島、四国)]

★ホームセンター販売額（全店ベース）



	28/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	1.5	5.1	▲4.3	▲0.6	3.2	▲6.2	▲11.0	1.2	1.9	▲0.9	▲3.7	▲5.1	▲1.5	▲1.2	▲0.1
四国	6.6	11.3	0.4	1.3	7.1	▲5.2	▲11.3	▲1.9	▲0.5	▲2.1	▲2.6	▲5.5	▲5.1	▲4.4	▲0.8
全国	0.9	3.3	▲1.4	0.7	3.7	▲2.8	▲4.3	▲0.4	0.8	▲1.7	0.0	▲2.0	▲0.3	0.4	▲0.7
販売額(徳島)	12.6	14.5	14.3	12.5	14.0	12.6	11.3	13.2	12.5	15.0	10.5	10.0	12.4	14.4	14.3
店舗数(徳島)	39	39	39	39	39	39	39	40	40	40	39	39	40	40	40

[資料：経済産業省(全国)、四国経済産業局(徳島、四国)]

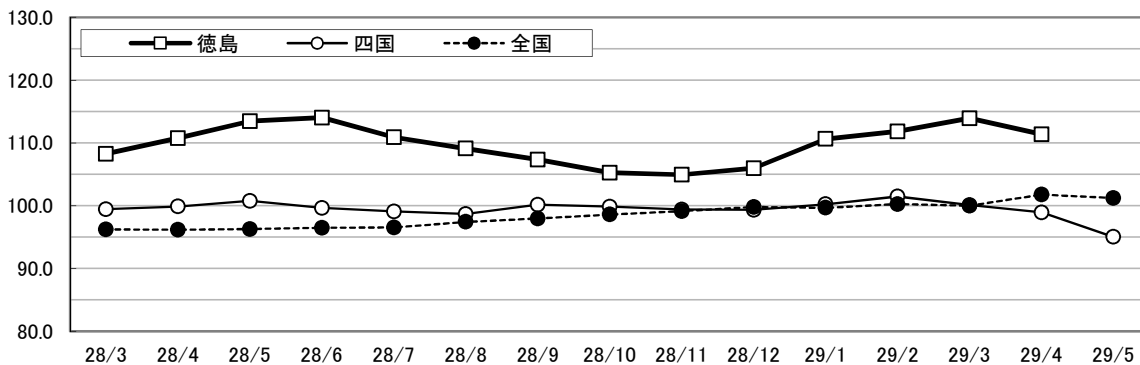
(6) 主要観光地の入り込み状況は、天候に恵まれ、各地のイベントが好調であるほか、台湾、香港等、外国人観光客の増加などから、全体として前年を上回っている。

(7) 旅行は、国内旅行では近場の日帰りツアーや北海道、沖縄等の遠方のツアー、海外旅行では東南アジアやオセアニア方面に動きがみられ、緩やかに持ち直している。

生産活動 持ち直しの動きに一服感がみられる

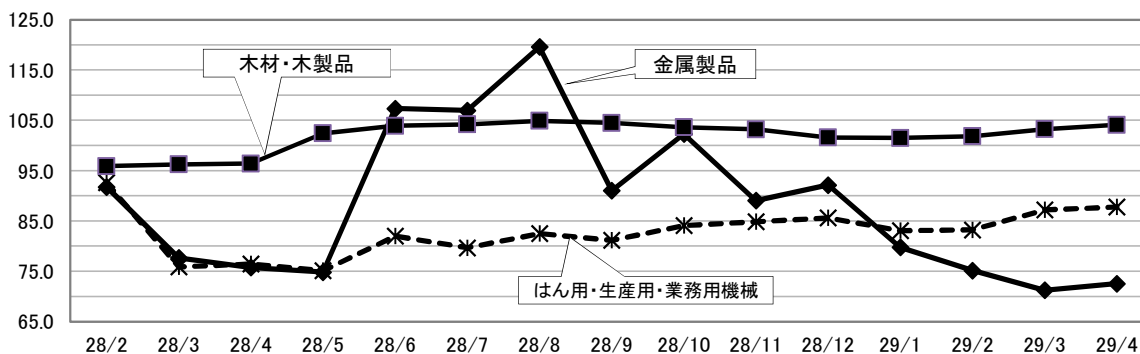
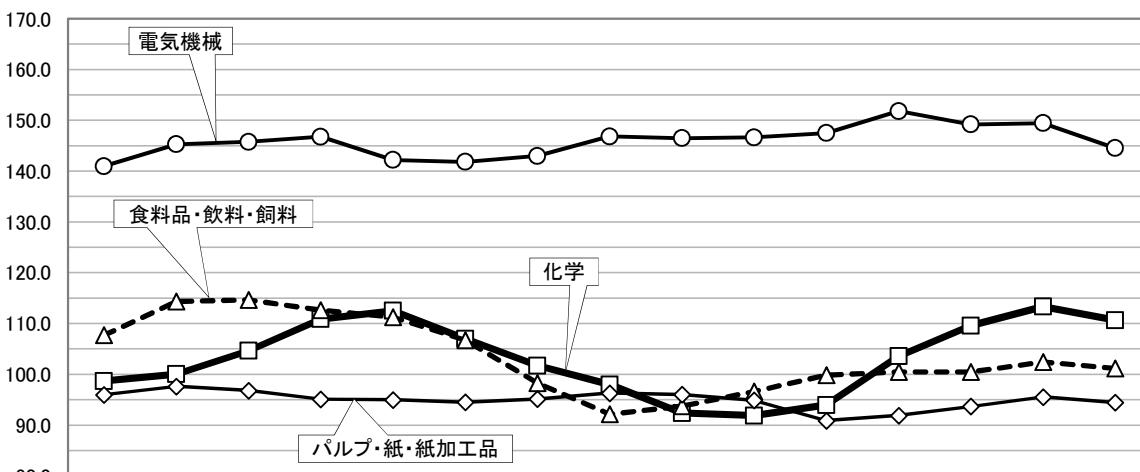
- ・ 化学は、認可を受け海外需要が拡大しているほか、安定した国内需要があり、引き続き持ち直している。
- ・ 電気機械や食料品・飲料・飼料、はん用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品、木材・木製品は、おおむね横ばいの動きとなっている。
- ・ 金属製品は、海外向け自動車用需要が減少しており、弱い動きとなっている。

★鉱工業生産指数の推移(季節調整値、3ヵ月移動平均) (平成22年=100)



	28/1 }	28/2 }	28/3 }	28/4 }	28/5 }	28/6 }	28/7 }	28/8 }	28/9 }	28/10 }	28/11 }	28/12 }	29/1 }	29/2 }	29/3 }	29/4 }	29/5 }
徳島	108.3	110.8	113.5	114.0	110.9	109.1	107.3	105.3	104.9	106.0	110.6	111.8	113.9	111.4			
四国	99.4	99.9	100.8	99.6	99.1	98.7	100.2	99.8	99.4	99.3	100.2	101.5	100.1	98.9	95.0		
全国	96.2	96.2	96.3	96.5	96.5	97.4	98.0	98.6	99.1	99.8	99.7	100.3	100.0	101.8	101.2		

★徳島県鉱工業生産指数(業種別)の推移(季節調整値、3ヵ月移動平均) (平成22年=100)

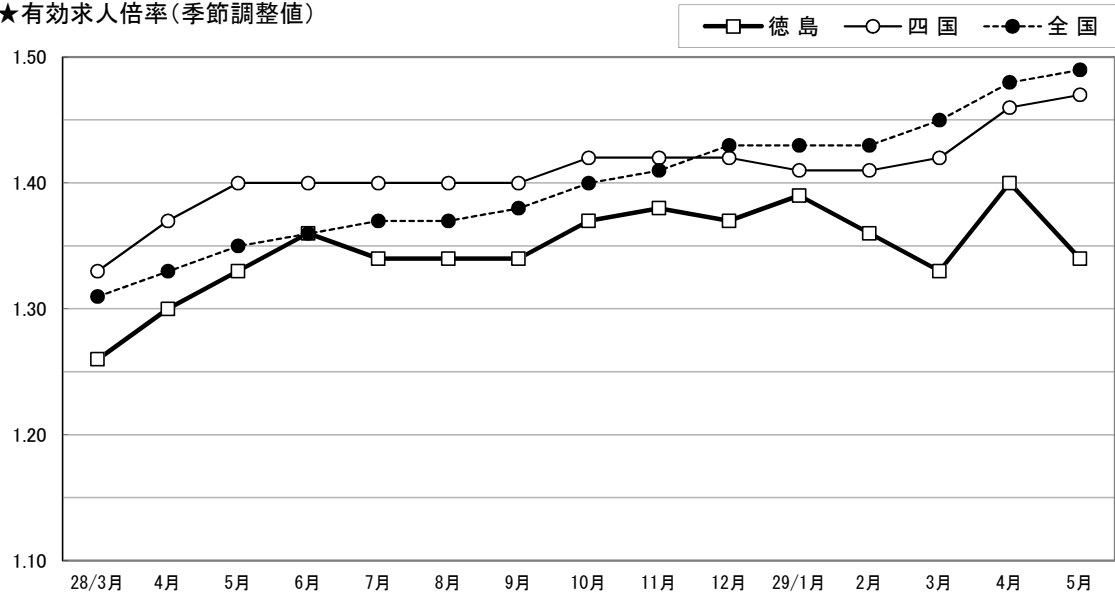


[資料: 経済産業省・四国経済産業局・徳島県統計戦略課]

雇用情勢 緩やかに改善している

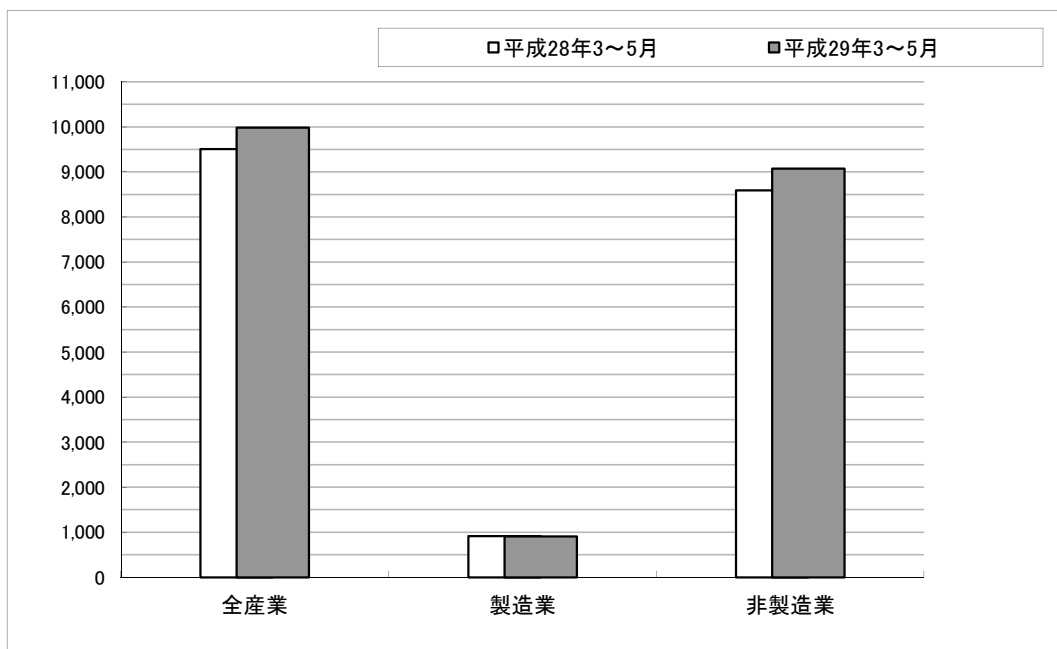
- ・有効求人倍率は、高水準を維持している。
- ・新規求人数(パート除く)をみると、製造業で前年を下回っているものの、非製造業で前年を上回っており、全産業で前年を上回っている。

★有効求人倍率(季節調整値)



	28/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	1.26	1.30	1.33	1.36	1.34	1.34	1.34	1.37	1.38	1.37	1.39	1.36	1.33	1.40	1.34
四国	1.33	1.37	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.42	1.42	1.42	1.41	1.41	1.42	1.46	1.47
全国	1.31	1.33	1.35	1.36	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48	1.49

★新規求人数(パート除く)(徳島:3~5月、単位:人)

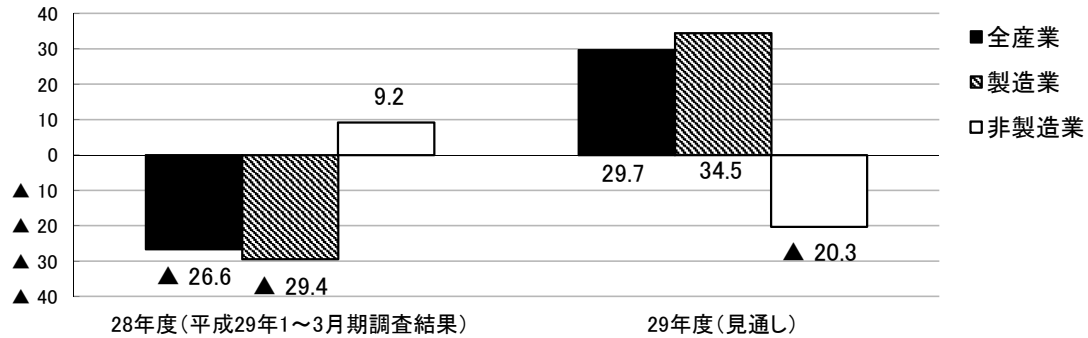


[資料:厚生労働省・徳島労働局]

設備投資 29年度は前年度を上回る見通し

・法人企業景気予測調査結果でみると、非製造業で前年度を下回っているものの、製造業で前年度を上回っており、全産業でも前年度を上回る見通しとなっている。

★法人企業景気予測調査(徳島) 平成29年4～6月期調査(前年度比、%)

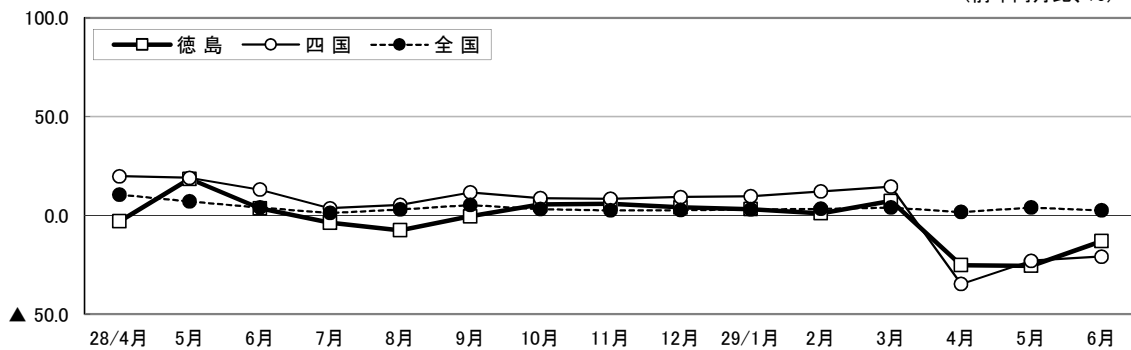


公共事業 前年度を下回っている

・前払金保証請負金額(累計)でみると、市町村で前年度を上回っているものの、国、県、独立行政法人等で前年度を下回っており、全体でも前年度を下回っている。

★請負金額累計

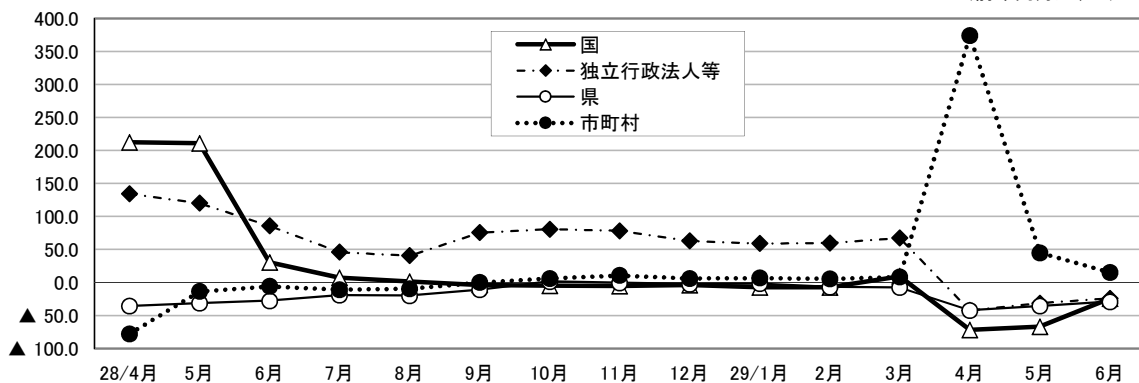
(前年同月比、%)



	28/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	▲ 3.0	18.5	3.6	▲ 3.7	▲ 7.5	▲ 0.5	5.5	5.9	4.1	3.2	1.1	7.3	▲ 25.2	▲ 25.5	▲ 13.0
四国	19.8	19.0	13.1	3.6	5.3	11.6	8.7	8.4	9.3	9.7	12.1	14.5	▲ 34.8	▲ 23.0	▲ 20.9
全国	10.6	7.1	4.0	1.3	3.0	5.3	3.3	2.5	2.7	3.0	3.4	4.1	1.7	4.1	2.6

★発注者別請負金額累計(徳島)

(前年同月比、%)



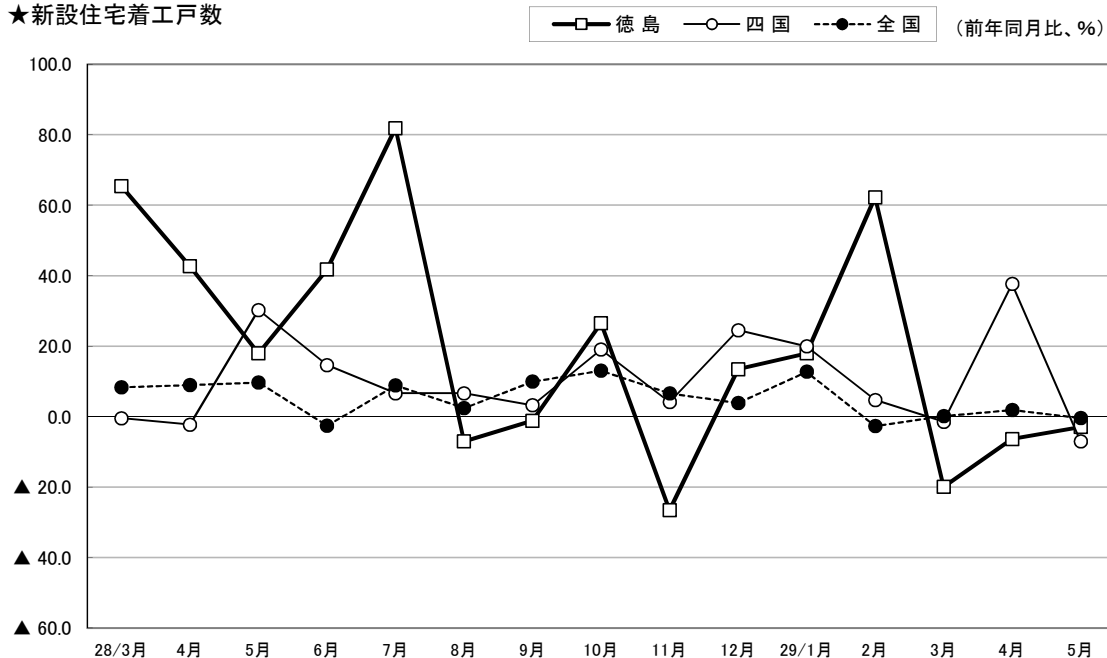
	28/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	212.5	211.0	30.7	7.3	1.6	▲ 3.6	▲ 4.8	▲ 5.2	▲ 3.9	▲ 7.2	▲ 7.1	9.6	▲ 71.8	▲ 66.8	▲ 24.4
独立行政法人等	134.6	120.6	86.1	46.3	41.0	76.0	80.9	78.6	63.4	59.4	60.3	67.7	▲ 41.9	▲ 31.1	▲ 23.6
県	▲ 35.5	▲ 31.3	▲ 27.5	▲ 19.1	▲ 19.9	▲ 10.9	1.5	▲ 0.3	▲ 2.4	▲ 1.6	▲ 6.8	▲ 7.5	▲ 42.2	▲ 35.5	▲ 29.0
市町村	▲ 77.6	▲ 13.3	▲ 5.6	▲ 10.5	▲ 9.3	0.3	6.5	11.0	6.5	7.1	5.9	8.6	374.5	45.3	15.6

[資料: 西日本建設業保証株式会社ほか]

住宅建設 前年を下回っている

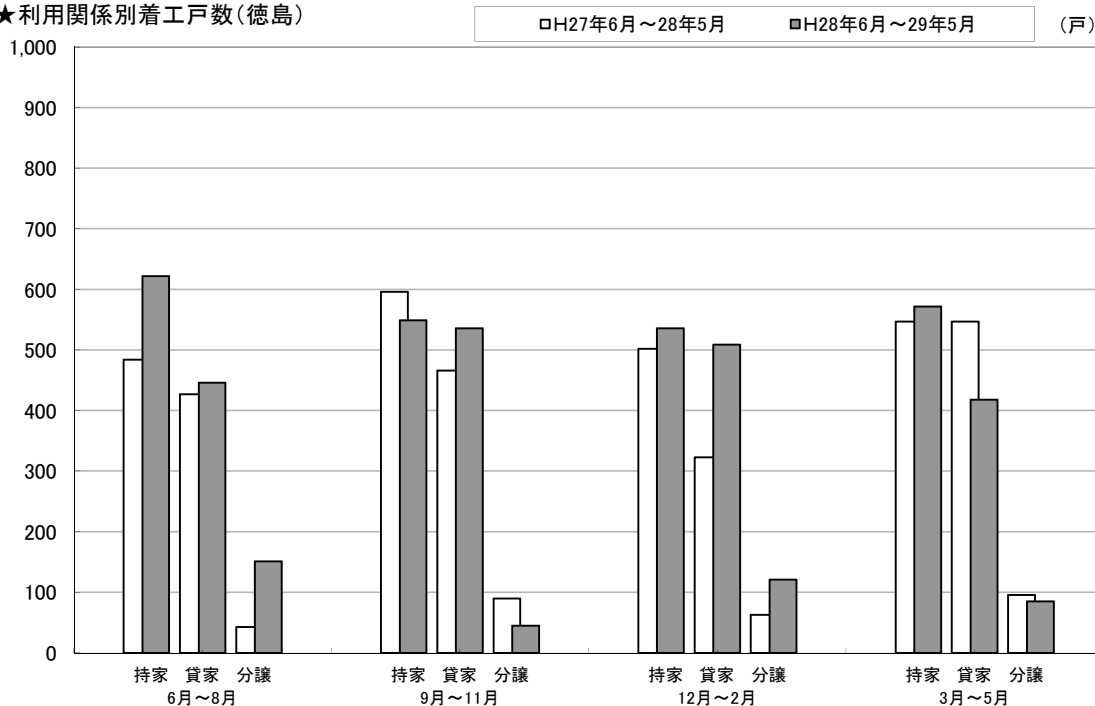
・新設住宅着工戸数でみると、持家で前年を上回っているものの、貸家、分譲住宅で前年を下回っており、全体で前年を下回っている。

★新設住宅着工戸数



	28/3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月
徳島	65.4	42.7	18.0	41.8	81.9	▲ 7.0	▲ 1.1	26.6	▲ 26.5	13.5	18.0	62.3	▲ 19.9	▲ 6.3	▲ 2.9
四国	▲ 0.4	▲ 2.2	30.3	14.7	6.7	6.7	3.3	19.1	4.2	24.6	20.0	4.8	▲ 1.4	37.7	▲ 7.0
全国	8.4	9.0	9.8	▲ 2.5	8.9	2.5	10.0	13.1	6.7	3.9	12.8	▲ 2.6	0.2	1.9	▲ 0.3

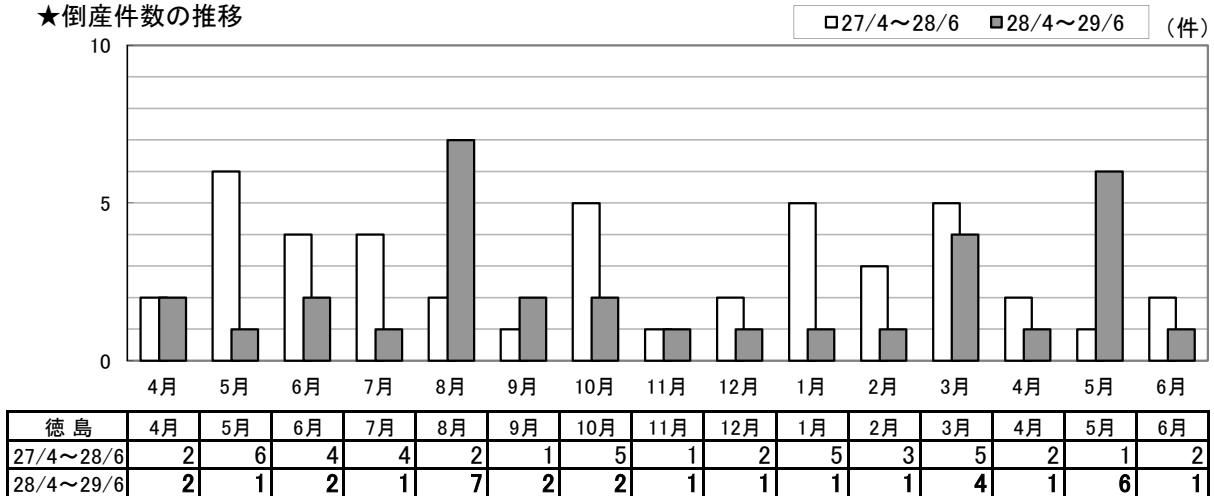
★利用関係別着工戸数(徳島)



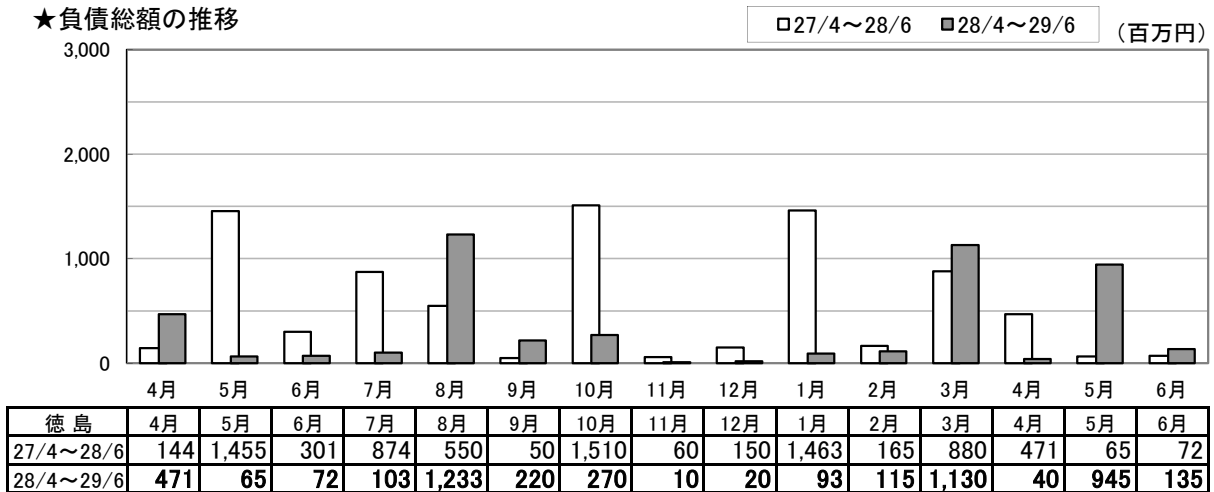
[資料:国土交通省]

企業倒産 件数、負債総額ともに前年を上回っている

★倒産件数の推移



★負債総額の推移

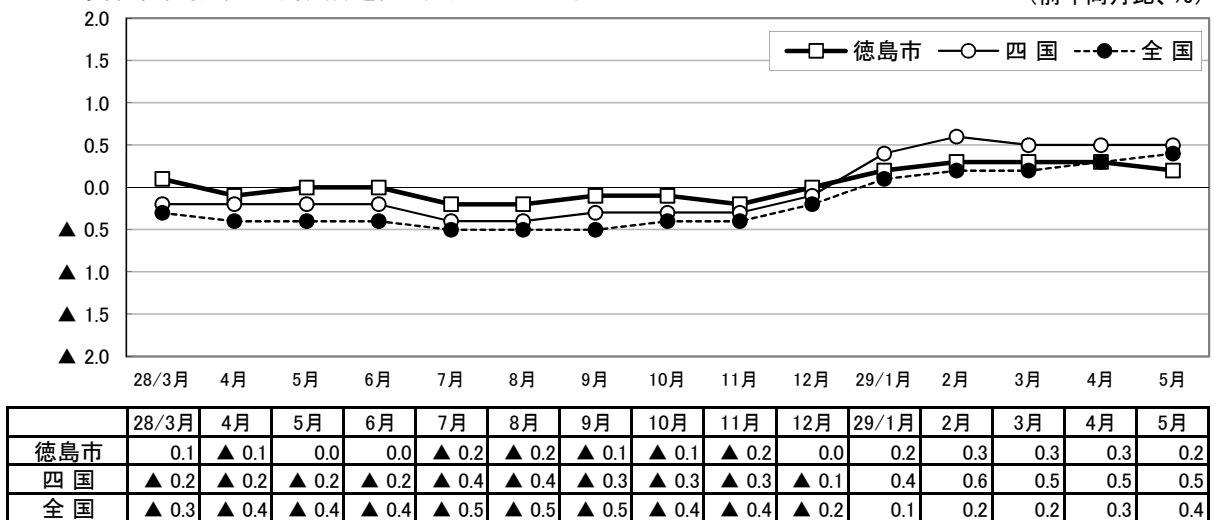


[資料:株式会社 東京商工リサーチ]

消費者物価 前年を上回っている

★消費者物価指数(生鮮食品を除く総合:平成27年=100)

(前年同月比、%)



[資料:総務省統計局]

県内地域経済に関する生の声

個人消費

○普通車、小型車は今年冬発売の新型車効果で概ね前年を上回った。軽乗用車においても3月で底打ちとなり、4月以降は前年を上回った。【乗用車販売】

○今年は猛暑との予報が既になされており、日焼け止め商品や制汗剤、スポーツドリンク、アイスクリームの動きにも期待できる。【ドラッグストア】

○香港、台湾からの外国人観光客が順調に増加している。高松空港では定期便が就航したことで、香港からは個人客が増えている。【主要観光地】

生産活動

○電気自動車の普及に伴って、需要、引き合いが強くなっており、販売数量、売上ともに伸びている。【電気機械】

○海外需要は、シンガポール、中国向けでバラ売り用需要が拡大しているが、在庫調整により需要減となる可能性があるため、設備投資に踏み切れない。【はん用・生産用・業務用機械】

○鋼材価格が上昇している。いくつかの製鉄所では鉄関係の需給が相当逼迫しており、価格の高騰につながったと思われる。【金属製品】

雇用情勢

○有効求人倍率は1倍台で推移しており、雇用失業情勢は、改善が進んでいる。【労働局】

○競合店の開店で、従業員の確保がさらに難しくなっている。【百貨店・スーパー、コンビニエンスストア】



●お問い合わせは

TEL (088)622-5181

総務課(内線201) 又は

FAX (088)654-9030

財務課(内線210) へ

徳島財務事務所

<http://shikoku.mof.go.jp/tokushima/index.html>



※PCサイトは携帯専用ではないため、接続の際、表示に時間がかかったり、
パケット通信料が高額になる可能性がありますので、ご了承ください。